

福生市議会だより

FUSSA



▲福生二中吹奏楽部の熱氣あふれる演奏と手話（10月7日福祉センターにて）

一般会計補正予算（第三号）と新たに追加された「教育委員の任命」と議員提出の意見書一件を審議し、それぞれ原案のとおり可決等し、陳情二件を不採択として、第三回定例会を閉会しました。

アメリカ合衆国との同時多発テロ事件について、福生市議会は、第三回定例会で結論づけられた議案一三件と陳情三件の審査報告を行いました。結果、第三回定例会を終了する前に、第三回定例会を閉会しました。

アメリカ合衆国における同時多発テロ事件に関する共同声明〔福生市・福生市議会〕

9月11日にアメリカ合衆国で発生した同時多発テロ事件は、一瞬にして数多くの尊い命を奪うという卑劣極まりないテロ行為であり、強い衝撃と憤りを覚えるとともに、こうした無差別テロにより犠牲となられた方々に対し、心から哀悼の意を表するものである。

このようなテロ事件は、世界の平和に対する大きな脅威であり、また民主主義に対する重大な挑戦でもあり、断じて容認できるものではない。

また、在日米軍・横田基地に隣接する当市においても、周辺住民の安全を考えるとき、強い不安と危機感を覚えるものである。

よって、福生市及び福生市議会は、我が国を初め世界各国が、一致協力して国際テロ行為根絶のために最善の措置をとられることを求める。

No.136

発行 福生市議会
平成13年10月25日
〒197-8501 福生市本町5番地
☎ 042(551)1511(代表)

平成13年第3回定例会

平成12年度各会計決算認定される

本会議の経過

平成13年第三回定期例会が、9月5日から28日までの二四日間の会期で行われました。

今回定例会では、一人の議員の一般質問、市長提出議案一八件と議員提出議案一件及び陳情二件の審議が行われました。

今定例会の一般質問者は一二名、質問時間は一二時間二五分、また議案一七件と陳情二件が提出されていることを勘案して、会期を二四日間と決定し

第一回目（五日）は、前日に引き続き四人の一般質問が行われ、二日目を終わりました。

第二回目（六日）は、議案一七件と陳情二件の審議が行われ、そのうちを終わりました。

第三回目（七日）は、議案一七件と陳情二件の審議が行われ、そのうちを終わりました。

第四回目（八日）は、議案一七件と陳情二件の審議が行われ、そのうちを終わりました。

第五回目（九日）は、議案一七件と陳情二件の審議が行われ、そのうちを終わりました。

第六回目（十日）は、議案一七件と陳情二件の審議が行われ、そのうちを終わりました。

「福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例」等三議案を可決。また平成13年度福生市一般会計補正予算（第三号）は

都立八王子小児病院を多摩地域の周産期医療センターとして、都立畜産試験場跡地に移転し、都立

未明、泥酔した米空軍所属の兵士による福生市立第一小学校や民家の窓ガラス破損等の事件が発生した。第一小学校ガラス破損は八月に続き二度目であり、今回は市民の住宅等も被害を受けており、

米国軍人等による事件の再発防止と綱紀の肅正について（要請）

都立八王子小児病院の存続、拡充整備を求める意見書（要旨）

○ 東京都知事に提出

○ 横田基地司令官へ提出

○ 主な内容

- 可決等された案件………2面
- 平成12年度決算審査から……3～4面
- 一般質問……………5～7面
- 委員会の審査、活動、陳情……8面

さみ有料化条例可決

周産期医療センターとして早期に拡充整備されるよう強く要望する。

よって、都立八王子小児病院を当初計画どおりの移転は、これまでの地域医療システムを根底から崩すものである。

機動力で補おうとする体制である。しかし、今回の都立府中病院隣接地への移転は、これまでの地域医療システムを根底から

極めて少ない当該地域を

周産期医療センターとして早期に拡充整備されるよう強く要望する。

周産期医療センターとして早期に拡充整備されるよう強く要望する。

機動力で補おうとする体制である。しかし、今回の都立府中病院隣接地への移転は、これまでの地域医療システムを根底から

極めて少ない当該地域を

一日から三日まで決算特別委員会において活発な質疑が行われ原案のとおり認定されまた特別会計決算についてもそれぞれの委員会で原案のとおり認定されました。

ここでは、一般会計決算認定について、委員会の審査の中から質疑応答(要旨)の一部を掲載しました。(各会計の決算額、一般会計決算の款別内訳は下表のとおりです。)

問二 年度決算の市税全般で特徴的な内容は。
答 市民税の個人分については納税者の減、所得の減などにより減額補正をしている。法人市民税は経費削減により、昨年より伸びた。固定資産税は評価替えの評価点が約一割程度減になつたことにより伸びなかつた。

答 五市一町の国有地
産台帳価格は總体で四四七一億四八四四万円で、
固定資産税相当額は五五五円。福生市は二二億六〇〇七千円で、
一町で六二億六〇〇七千円。福生市は二二億七千円で、
六六万一千円で、福生市は二二億七千円で、
五億六〇八四万三千円で、福生市は二二億七千円で、

問 年齢別の職員数が
二二から二五歳が非常に
少なく、今後年齢構成が
心配だが、若手職員の活
力をどう推移させていく
のか伺いたい。

一二年度市税 その特徴は

職員採用の 今後の考え方

今後の考え方は 年齢別の職員数

・八%の減額、都補助金
は二六・五%の増、全体
では一一・七%の増額と
なつてゐる。

滑走路改修後の 基地交付

か不可能となり收入となつた。

今回の定例会に、平成一二年度一般会計決算及び五つの特別会計決算が提出されました。

平成12年度

決算の概要

反映されたか 国・都への要望

生活保護費の 状況は

問　国や都に対する予算要望は具体的に一二年度決算にどのように反映されてい
るか。

問 民生費国庫負担金の生活保護費負担金が減った理由と、生活保護費弁償金八〇〇〇万円の主

基地交付金との差は一億八一一八万二千円である。滑走路の財産は工事後、舗床工作物として米軍安全保障条約に基づく委員会で財産台帳に載つてくれば、基地交付金の算定資料となるが、現在は不明である。

用職員の採用、再任用等の活用、民間活用等を考えられるが、新規にい職員の採用も必要と考えている。二二年度は五名を採用している。

急地域雇用特別事業費
内容を伺いたい。

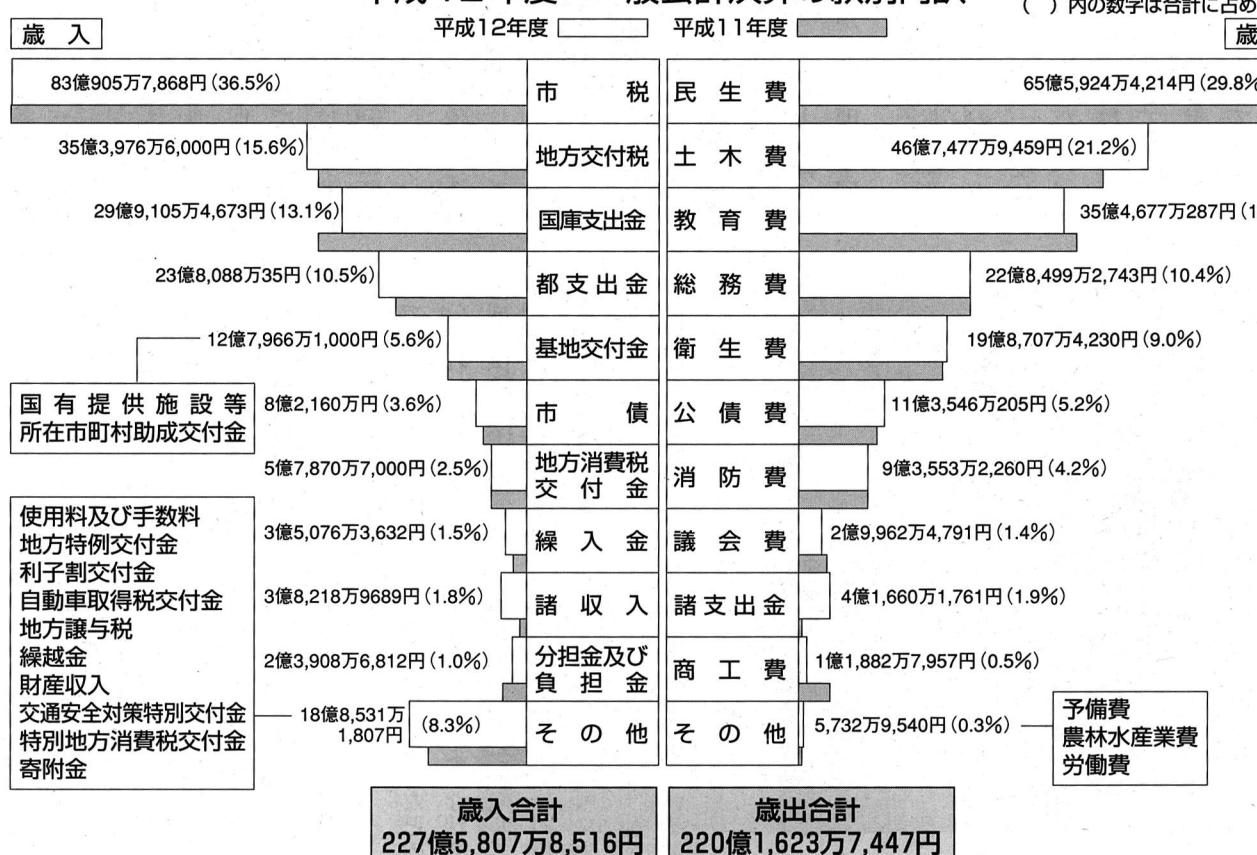
ル、電算機器のトラブルの対応、相談・問い合わせ・アドバイス、職員修、システム開発・改等を本事業費で行つた

況は。また今後の加入促進の考え方は。

会計区分		歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
特別会計	一般会計	227億5,807万8,516円	220億1,623万7,447円	7億4,184万1,069円
	国民健康保険特別会計	39億1,926万2,482円	38億9,222万9,355円	2,703万3,127円
	老人保健医療特別会計	33億 58万8,081円	32億8,597万9,285円	1,460万8,796円
	介護保険特別会計	13億 95万1,757円	12億1,227万1,367円	8,868万 390円
	下水道事業会計	33億1,308万5,263円	32億6,337万9,118円	4,970万6,145円
	受託水道事業会計	6億5,666万9,974円	6億5,666万9,974円	0円
総合計		352億4,863万6,073円	343億2,676万6,546円	9億2,186万9,527円

6億5,666万9,974円

(3) 本の数字は合計に上付子割合



つたが、諸問題が多く、事業が進んでいないよう思ふが、野澤市長も引き続き整備事業を推進していくのか伺いたい。

市長 一年に熊川分水対策会議で南公園への水路を延長し、モデル地区等の整備を進め、分水区等の整備を進め、分水用地の無償借り上げを手始めに分筆登記等推進する整備方針（案）を検討



▲進みたい優しいバリアフリーのまちづくり

市長 既に制定されている「東京都福祉のまちづくり条例」に基づき、病院、飲食店、ホテル、店舗等を新設、改修する場合、市にその旨届け出

バリアフリーのまちづくりを

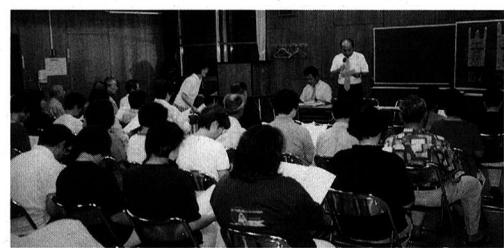
今林昌茂議員

質問 最近は「バリアフリー」という言葉はどこでも聞かれるが、しながら現実は余りのギヤップに驚くばかりである。バリアフリーのまちづくりについて、市長の考え方を伺いたい。

市長 最近のニュースでは「聖域なき見直し」など、地方交付税を巡る動きが見られるが、市はどの程度影響を受けるのか伺いたい。

市長 地方交付税の原資となる所得税、法人税等国税五税は景気低迷や

いたいたが、モデル地区の分水底地を無償で借り上げ、橋、堀等の修景施設もわせて整備するなどの調整が関係権利者と十分進んでいない状況である。多くの課題が山積しているが、今後、モデル地区の整備を分水対策会議で協議をいただきながら、進めていきたい。



▲ごみ有料化（案）説明会（松林会館にて）

減税実施の中での十分な確保が図れず、最近は交付税特別会計から巨額資金を借入交付し、累積残額は四〇兆円と言われる。地方交付税制度は社会、経済環境等が変化する中で見直されると思うが、

市長 地方税とリンクしており、度から地方は臨時財政対策債を発行し需要額の一部を振り替える新方式に算に計上している。

ごみの有料化導入市民の声はどうか

大野悦子議員

質問 廃棄物減量等審議会のごみ有料化の答申に関し、さまざまな反応があると思うが、地域で開催された説明会で寄せられた市民の声はどのようなものがあるか。

市長 四八回、一四〇三名の参加をいたいたい説明会では、有料化を前に提として剪定枝、落ち葉等の対応、散乱ごみを含めた不法投棄対策、排出方法、指定収集袋についてなど具体的な意見・質問が多かつた。反対意見は極めて少数で、年金受取組み可能な事業から年次計画に沿って整備等施工をしており、今後も優しいバリアフリーのまちづくりを目指し、推進していきたい。

市長 説明会に出席された熱心な方もおられる反面、無関心な方もいる状況を踏まえ、市民への啓発活動を周知徹底していきたい。市広報への掲載、清掃だよりの全戸配布、ポスター、啓蒙用横断幕、懸垂幕、収集車両によるテープでのお知らせ、公用車・収集車両へ

非常に難しい問題である。また現時点では先行きの動向は不透明であるが、度から地方は臨時財政対策債を発行し需要額の一部を振り替える新方式に算に計上している。

福生一中通学路の安全対策を

高橋章夫議員

質問 一中の正門に通じる市道三〇号線は校庭と青梅線に挟まれた幅員の狭い道路で、危険が多い。人身事故がないといふことでなく、安全な道路にしてほしいが、通学開催された説明会で寄せられた市民の声はどのようなものがあるか。

市長 四八回、一四〇三名の参加をいたいたい説明会では、有料化を前に提として剪定枝、落ち葉等の対応、散乱ごみを含めた不法投棄対策、排出方法、指定収集袋についてなど具体的な意見・質問が多かつた。反対意見は極めて少数で、年金受取組み可能な事業から年次計画に沿って整備等施工をしており、今後も優しいバリアフリーのまちづくりを目指し、推進していきたい。

市長 説明会に出席された熱心な方もおられる反面、無関心な方もいる状況を踏まえ、市民への啓発活動を周知徹底していきたい。市広報への掲載、清掃だよりの全戸配布、ポスター、啓蒙用横断幕、懸垂幕、収集車両によるテープでのお知らせ、公用車・収集車両へ



▲安心して通学したい

委員会も傍聴できます

委員会・特別委員会の傍聴はどなたでもできます。

市長 既に制定されて

いる「東京都福祉のまちづくり条例」に基づき、

病院、飲食店、ホテル、

店舗等を新設、改修する場合、市にその旨届け出

用地の無償借り上げを手始めに分筆登記等推進する整備方針（案）を検討

始めに分筆登記等推進す

がら、進めていきたい。

市長 地方交付税の原

資となる所得税、法人税等国税五税は景気低迷や

のマグネット貼付、パンフレット作成などあらゆる方法を展開していきた

い。またマイバッグの作成・配布、事業者向けの

活動やごみ減量促進への助成制度や収集回数等、今

後検討していきたい。

市長 住宅や乗降客の急激な増加に伴い今後さ

らに犯罪等の増加が懸念

されるので、市民生活の

安全面から交番等の設置

強く要望していきたい。

市長 住宅や乗降客の

急激な増加に伴い今後さ

らに犯罪等の増加が懸念

されるので、市民生活の

安全面から交番等の設置

</div

えなかつたので、今後速やかに調整入り、取り組んでいきたい。今後の予定は意向調査が終わり次第十分に検討し、実施のためのたたき台に反映

させ、学校・保護者と協議し素案をまとめていきたい。具体的進行をみると、今はその都度議会に報告し、御理解をいただきたい。

介護保険制度

市の指導監督は

青海俊伯議員



▲市民へ配布された「介護保険」冊子

質問 昨年四月に介護保険制度が開始されたが、介護保険の保険者は各市町村であり、その意味から保険者である市の指導監督責任は大きいものがあると考へているが、各支援事業者、ケアマネージャー、介護支援センターに対してどのような指導監督を行っているか伺いたい。

市民サービス 今後のあり方は

質問 市民サービスは、市民はお客様との発想に立てば顧客満足度に集約されるとと思うが、本当の市民サービスとは市民の意見、考へが行政に反映でき、市民参画の機会を多くつくれるかであり、今後の方向性を伺いたい。

市長 以前から市長への手紙、世論調査、モニター制度、審議会への市民参画により市民の意見を伺っている。昨年は各団体との懇談会を行った。

教育長 一口に不登校といつてもその原因や様態はさまざまがあるので、実態分析に基づいて対応することが大切だと考えている。そのため内部に検討委員会を設置して対応策についての検討と、

市長 実態報告に基づいた意見交換を行っており、スクールカウンセラーや教育相談員などの活用事例の報告や、不登校の重大な原因の一つと言われている学力不振への対応としての指導法の改善などについて話し合っている。

教育長 教育委員会と相談員などの活用事例の報告や、不登校の重大な原因の一つと言われている学力不振への対応としての指導法の改善などについて話し合っている。

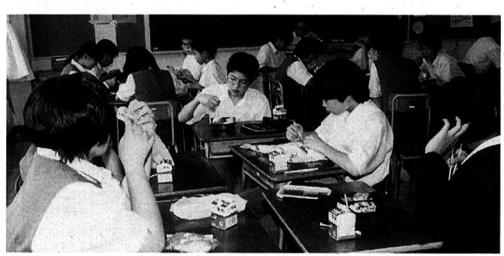
市長 平成一二年度に市に寄せられた苦情件数は五六件で、そのうち制度の内容等についての苦情相談は三六件、サービス件数であった。サービスへの苦情については、その

う、まちづくりフォーラムを開催する。また各種のプロジェクトも動き出しているので、その中で市民参画の拡大について検討していただきたい。

中学校給食

その後の取り組みは

奥富喜一議員



▲昼休みの楽しいひととき

質問 育ち盛りの子どもの体をつくっていくとともに、様々な教育上の課題解決の一助としても、大きく期待され、一日も早い中学校給食の実施が望まれているが、その後の取り組み状況は。

教育長 前回の質問の際、実施にあたり最も重要なことは、生徒、保護者が何を求め、どう考えているかなど、意向調査実施のため学校側と調整していると答えたが、その後、大阪池田小の児童殺傷事件により学校現場に混乱が生じ調整ができるなかつたが、夏休みも終わつたので早急に取り組んでいただきたい。今後は実施のためのたたき台をつくり、素案をまとめたい。具体的進行をみると、今はその都度議会に報告し、御理解をいただきたい。

市長 中でごみ収集方法について、満足、やや満足、普通と答えた方が七六%で、現在の収集方法が定着しつつあり、一定の御理解をいただけたものと思つておらず、燃ごみについては現在の収集回数で継続して実施し、さらなるごみ減量、リサイクル推進に努めていきたい。

教育長 総務課一五条により審議を非公開としたが、教育委員会は公開が原則であるため、基本的に公開を前提としつつ、自由な意見交換を行っており、スクールカウンセラーや教育相談員などの活用事例の報告や、不登校の重大な原因の一つと言われている学力不振への対応としての指導法の改善などを話し合っている。

市長 昨年一〇月に事業者より現敷地に五階建ての物品販売、飲食店舗、現駐車場に六階建てビルを建設し、日用品販売店舗と二四時間利用可能な駐車場を設置する話があり、本年三月には地下に二〇〇〇台収容の駐輪場建設とペデストリアンデッキ建設の話があつた。公共性があるため補助金の協議をしてきたところで、現在市が抱えている問題が整備できるので、関係機関と調整を進めているところである。

児童・生徒への不登校対応は

松山清議員



▲みんなとサッカー楽しいな

質問 前回の予算委員会で教育長は学校教育における重要問題の一つとして不登校問題を取り上げたが、今後の不登校対応について伺いたい。

教科書採択審議会

次回は公開を

質問 来年度以降の中学校での教科書採択では、かつてない市民の関心が高まる中で来年度の教科書が採択されたが、当市の教科書採択要綱の中に審議を非公開とするという項目があるため委員会審議は非公開となり、情報公開の流れに逆行するようになつたが、当市は学校を積極的に開放する立場で取り組んでいたが、今後の安全管理並びに、学校開放を含めた対策を伺いたい。

福生駅東口改良と西友建替計画は

質問 今年の六月に阪池田小学校で痛ましい事件が発生し、安全であるはずの学校でこのようないろいろと安全対策に取り組んでおりますが、当市は学校を積極的に開放する立場で取り組んでいたが、今後の安全管理並びに、学校開放を含めた対策を伺いたい。

質問 今月の六月に大河内地区で開催された「各学校の児童・生徒を守る安全策は」と題する会議で、各学校の児童・生徒を守るために、各学校に実施される安全対策について話し合った。各学校の児童・生徒を守るために、各学校に実施される安全対策について話し合つた。各学校の児童・生徒を守るために、各学校に実施される安全対策について話し合つた。

